



まだ知らない串間がたくさん！
しま再発見

草原の秋風に 冬の匂いを感じて



岬馬はシバやチガヤなどのイネ科植物を好んで食べますが、11月以降には少しずつ草原の緑が色あせて、草の栄養が低下します。それでもイネ科植物が好きなので、観察していると枯れたシバでも構わず食べています。周囲にはおいしそうに青々とした草もあるのですが、それには目もくれません。この青草が生えている場所は、9月末には美しい赤い花が咲いていました。これは、毒草のヒガンバナの葉です。だから、馬たちも食べなかったのですね。



9月下旬のヒガンバナ



11月のヒガンバナ



写真⑤ 夏の岬馬



写真⑥ 冬の岬馬

これから冬になると、草原は食べ物が無くなるだけでなく、浜風も冷たくなって、いよいよ馬たちは森林内へ移住するようになります。都井岬では冬でも枯れない常緑の樹木や竹類が多くあり、冬には樹木の葉も食べているのです。馬といえば草原で草を食む姿がイメージされますが、森で木の枝や竹を折り、黙々と食べるその姿には、野生馬のたくましさを感じます。これからの季節は写真のように、毛皮も冬服へと衣替え！まるで別人？です（写真⑤・⑥は同じ馬の夏・冬の様子です）。モコモコの岬馬に会えることも、冬の都井岬の楽しみです。

秋から冬へ移ろう串間の自然を、都井岬で感じてみませんか？

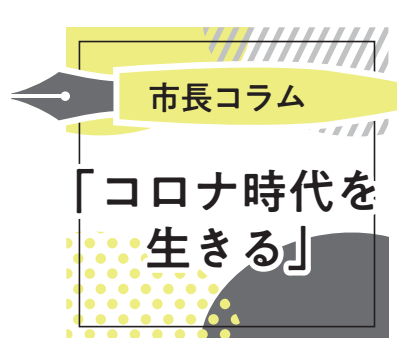
【都井岬のお問い合わせは】

都井岬野生馬ガイド ☎090-4588-1133（担当：大隈・世良田）

■岬馬が特別展のメインイメージに使われました！

西都原考古博物館にて、宮崎県内で出土した唯一の国宝「日向国西都原古墳出土金銅馬具類」の特別展が開催されています。推古天皇が「馬ならば日向の駒」と歌われたほど馬産が盛んであった日向国。都井岬の岬馬は、武士の乗馬が改良されずに野生化して残されたことから、現代に残る生きた馬では最も古代馬に近い形が保存されているといわれ、今回の特別展では岬馬がメインイメージに使われています。よろしければぜひご来館ください！

●開催期間：10月3日（土）～12月6日（日）午前9時半～午後5時半（入場無料）



9月に「コロナウイルスに負けない宣言」を
発表した串間中学校生徒会の皆さん

日本は戦後、国民の汗と涙を力に復興を果たし、今日では見事世界に誇る経済大国となり、私たちは豊かな生活を送っています。

また、人間の知恵と努力はとどまることなく、今や超高速通信「5G」やAI（人工知能）などの情報通信技術（ICT）が進化した時代となりました。

ソフトバンクの社長である孫正義さんは、高校入学後半年で中退し、その後渡米して現地の高校に編入しますが、高校卒業検定試験に合格したため高校2年生で退学しました。その後はそのままアメリカで勉学に励まれ、今では世界に誇る経営者になられています。これからもさらなるICTの発展に大きく寄与されることでしょう。

一方で、急速な産業活動などにより環境破壊が大きく進んでいます。豊かさを求めることは不自由なく生活できるメリットもありますが、同時に弊害を及ぼすこともあります。環境に配慮して自然と共存していくことが、今後も皆さんが安心して生活するために必要なことではないでしょうか。

新型コロナウイルス感染症は今も全世界で感染が拡大し続けており、まだまだ予断を許さない状況です。世界各国でワクチンの開発が急がれています。今私たちにできることは感染予防対策を徹底して自己防衛に努めることです。お互い助け合いの精神で健康と幸せを守り、コロナ時代を生きましよう。

地域おこし協力隊 活動日記



No. 43

我が家の隣人



かい 道仁さん

ムジナって言葉は串間に来て知りましたが、アナグマのことなんです。我が家の畑の隣は空き家でそこにムジナ家族が住んでいます。

私は畑で、春夏にいろんな野菜の栽培にチャレンジしました！（カブ・ニンジン・キャベツ・トウモロコシ・トマト・バジル・ローズマリーなどなど）やってみて分かることがたくさんありましたが、残念だったのはトウモロコシ。

50株分を種まきし、あと少しで収穫というところからムジナの被害が：このままではマズイと思い、無知なままネットを張るも支柱の本数が足らずネットが緩い：次の日の朝、畑を見ると見事にネットを越えて食べられていた：支柱も増やしネットを張ってこれで安心、あとは収穫を待つのみと楽しみに過ごしていました。そして収穫日の朝、がくぜんとしました。今度は地面の隙間からアンカーを持ち上げて中に侵入、しかも大量に食べられている！今回はさすがにショックでしたね：気づけば収穫

できたのは10本もないくらいでした。それから重し石も乗せて侵入されることは無くなりましたが、後の祭りです。

そんなショックを受けているときに、鳥獣被害対策マイスターなる講義を受講する機会があり、鳥獣被害について勉強をしました。

◆餌付けしない↓野菜クズや収穫物を食べられないようにする。私たちが食べないものでも動物には餌になります。放任果樹も同様です。◆田畑周辺の雑草刈り↓動物は見られることを嫌います。ネットなどを張って防護しても、雑草で姿を隠せば隙間を見つけて入ってきます。

◆正しい設置と管理↓対象動物を見極めて電気柵は鼻の高さを中心に、くぐれない・飛び越えられない高さに設置し、設置後も定期的な見回りチェックをしましょう。もっと早く学べていたら：来年はトウモロコシをおいしく食べれるように頑張ります！